地域の教育資源を活用した学習活動

北海道上ノ国高等学校　学級数３　（校長　佐々木　雅　康）

１　実践の趣旨

本校は各学年１学級、全校生徒 44 名の道立高校である。全校生徒のほとんどが地元の上ノ国町出身であり、本校のスクール・ミッションの一つである「故郷を愛し、地域社会を支え、ともに未来を創る人材の育成」を目的として、地域の教育資源を活用した様々な学習活動を展開している。

２　実践の概要

⑴　地域探究学習

本校では、１年生の「総合的な探究の時間」において、上ノ国の歴史や産業等に関する課題を設定し、探究する、地域探究学習を実施している。その探究活動の成果は、毎年、上ノ国町長や地元企業の関係者等を招き、地域探究学習発表会として発表を行っている。今年度は、上ノ国町の歴史や産業、地域防災等に関する探究学習を通して、生徒は上ノ国町の現状や課題について深く知ることができた。

地域探究学習発表会の様子

⑵　ふるさと高校生議会

本校では、２年生の「総合的な探究の時間」において、地方自治や上ノ国町の現状についての学習を深め、上ノ国町議会において、町長をはじめとする上ノ国町役場の職員に対して、町の活性化についての政策の質疑を行う高校生議会を実施している。参加した高校生は、町の抱える課題を把握するとともに、その解決に向けて高校生ができることについて考える貴重な契機となった。

ふるさと高校生議会の様子

⑶　避難訓練・ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）の実施

本校では、上ノ国町消防の職員を講師に招き、防災教育の一環として避難訓練・ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）を実施している。高校の校舎使用を想定した避難所運営を考えることで、災害時に高校として地域に対して、何ができるかを考える貴重な契機となった。

ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）の様子

⑷　海外研修報告会

今年度本校では、町や教育振興会の支援により、３年ぶりにニュージーランドへの海外研修を実施することができた。町総合福祉センター「ジョイ・じょぐら」において、海外研修の報告会を実施し、海外研修の成果を町内の小・中学生をはじめとする町民に還元した。海外研修に参加した生徒は、海外の文化を知ることで、改めて上ノ国町のよさを理解することができた。

海外研修報告会の様子

３　取組の成果と課題（成果○　課題●）

○　地域の教育資源を活用した教科等横断的・総合的な学習を行うことで、探究的な見方・考え方が養われている。

○　生徒は、地域の高校生として、自立と貢献を意識した学習や提案を行っている。

●　高校や地域の魅力発信に向け、地域住民や自治体、企業と連携した取組が必要である。